



新ひだか町立高静小学校

明治5年（1872年）5月創立

〒056-0005 北海道日高郡新ひだか町静内こうせい町2丁目9-1

T E L : 0 1 4 6 - 4 2 - 1 4 6 1

F A X : 0 1 4 6 - 4 2 - 7 2 5 0

M A I L : sh-kousei-es@town-shinhidaka.ed.jp

ホームページ :

<https://www12.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=c20200079>



創立150年

高静小学校校歌

作詞 飯田広太郎
作曲 工藤富次郎

一
遠く連なる 山脈に
明日の望み 輝けば
シベチャリ川の 水音に
夕べの平和ぞ こもるなり
ああ故郷 ここに 拓く

二
直ぐに のびよと
白楊の梢は高く 空をつき
清く育てと 桜花
幾年月か 香るなり
ああ高静 ここに 育つ

三
誠の一字を めざしつつ
強き心と 強き身を
尊き汗に 培いて
学びの道を 進むなり
ああわが友 ここに 励む

校名の由来

「静内村」と「高江村（新冠町）」とを合わせた名前である。通学児童の区域拡大によるものと思われる。
※「静内町史」より

1 地域・学校・児童の実態

- 本校は、明治4年稲田家中が、捫別（東静内）において、私塾益習館として開設したのが始まりで、明治5年の学制発布当時、北海道において5番目の正式学校として同年5月、目名村に目名教育所として創立され、明治10年高静小学校に改められた。
- 本校が所在する新ひだか町は、平成18年に旧静内町と旧三石町が合併して誕生した町であり、地理的には日高地方の中央部に位置している。人口は22,000人余りで、日高管内では最も大きな町であり、経済の中心地として国道235号線沿いには多くの商業施設等が見られる。また、町内には桜の名所として有名な二十間道路があり、開花時期には町外者も多数訪れる。
- 校区は、新ひだか町静内市街地のほぼ中央部で、多くは住宅街や商業地である。現在も住宅の新築が見られるが、北側にはトマト栽培などの畑作や軽種馬育成の牧場などの農業地域も抱えており、この地域に居住する児童の一部は、スクールバスにより通学をしている。
- 要保護や準要保護家庭の割合が10%程度と保護者の生活状況は比較的安定しているが、共稼ぎ家庭が多く家庭の教育力には落差が見られる状況にある。PTA組織を中心に、学校行事の運営協力など学校教育への協力体制が整備されている。
- 児童は明るく素直な子が多く、のびのびと育っている。学習規律、主体的・対話的で深い学び、家庭学習などを充実させることで基礎学力とともに、教科横断的資質・能力の育成をしているところである。今年度の重点資質・能力は「言語の基礎力」「まとめる力」「多様性の尊重」の3つである。
- 全国学力調査においては、65%の正答率を目標としているが、国語、算数ともにあと一步というところまできている。課題は「読解力」「条件に応じた文章表現」「論理的に説明する力」等である。
- 児童会が「あいさつ運動」に取り組み、気持ちの良いあいさつを行うことができる児童が多い。また、今年度から「縦割り班清掃」「委員会活動見直し」などを実施し、異学年間の交流を活発化させる予定である。
- 学校評価アンケートでは、保護者と児童ともに、ほとんどの項目で高い満足度を示している。

2 沿革の概要

年・月・日	概 要
明治 5・5	目名教育所創設（明治4年に移住した稲田家の私塾「益習館」を改称）
10・7	目名学校と改称
12・8	上下方（現神森会館の所）に校舎移転
13・7	初代校長 大脇 欣二 就任
16・6	捫別分校創設
26	下下方尋常小学校創設
35・2・17	高等科3年併置（2学級・91名）
35・3	第2代校長 吉田 貫一 就任
40・9	下下方尋常小学校合併
41・1・7	現地に校舎改築（5学級・215名）
42・2	「職員協同に一致にして職務に勉め・・・」と北海道長官賞受賞
44・6・30	増築校舎落成、校旗を制定
45・4・3	開校40周年記念式典（7学級・330名）
大正 6・11	吉田貫一校長、文部大臣賞を受ける
7・9・8	開道50周年記念博覧会に出品した「我が校の経営せる学校園」で金牌
11・4	第3代校長 本庄 英次 就任
11・10・5	開校50周年記念式典（7学級・417名）
14・10	第4代校長 二宮 茂樹 就任
15・10	4教室・屋内体育館・便所等約74坪増築（10学級・546名）
昭和 4・5	第5代校長 片倉 三郎 就任
8・5・10	開校60周年記念式典（14学級・672名）
9・5	第6代校長 新栄 与吉 就任
10・7	第7代校長 北村 浩 就任
11・12	屋内運動場・二線校舎12教室・作法室・湯呑場等440坪増築（15学級・779名）
14・4	田原特別教授場通年制実施
16・4・1	国民学校令が施行され高静国民学校となる
17・5・10	開校70周年記念式典（本校18学級・田原分校1学級・942名）
18・1	第8代校長 山村一二三 就任
22・3・31	学校教育法施行、6・3制、高静小学校と改称

24・3・1	高静小学校真歌分校（学級数1）編成許可
10・10	日高管内優良校として表彰される
25・10	田原分校の独立が許可され、田原小学校となる。
27・5・20	開校80周年記念式典（本校22・真歌分校1学級・1111名）
30・4・1	第9代校長 坂東 孝平 就任
7・4	開町以来の大水害
33・4・1	第10代校長 渡辺 宗勝 就任35学級編成（1783名）
37・4・11	静内小学校新設、679名転出（25学級、1189名）
38・10・2	開校90周年記念式典
40・4・21	牛乳給食開始
41・4	第11代校長 及川 幸男 就任
42・4・13	完全学校給食開始（給食費月額600円）
43・12	正門前に手動式交通信号機設置
45・4	第12代校長 田部 敬 就任
46・12・25	現体育館完成
47・10・18	開校100周年記念式典
49・2・15	日高管内教育実践研究会開催（900余名）講師 斎藤喜博氏を招聘
6・18	現校舎落成、給食研究大会
50・4	第13代校長 猪野毛 登 就任
7・11	道PTA連合会より本校PTA表彰を受ける。
51・8・26	体力山完成
52・11・25	日高管内教研連10周年記念大会会場
54・3・23	山手小学校新設、山手小に463名・静内小に199名転出
5	交通安全功労団体として、町交通安全協会より表彰される。
55・4	第14代校長 毛内 善三 就任
57・3・21	浦河沖地震発生、祝日のため児童の被害なし、集合煙突等被害
4	第15代校長 桜井 秀雄 就任
60・4・1	ペテカリの園分校開設児童転出（普通2学級、障害児2学級834名）第16代校長 坂本 康治 就任
62・8	学校目標の改定、全道作文研究大会会場
10	日高教研連20周年記念研究大会会場、全日全日本特殊教育北海道大会
63・7	校舎全面塗装
平成 1・4・1	第17代校長 原 功 就任、学級数25、児童数811名
4	遠距離通学バス運行開始 体育館改修 120周年記念マラソン記録会・大運動会
5	一線校舎大規模改修
7	120周年記念式典
4・4・1	第18代校長 柳沢 富雄 就任
8・4・1	第19代校長 及川 泰明 就任
10・4・1	肢体不自由児学級認可
11・4・1	第20代校長 藤島三千年 就任、情緒障害児学級認可
10・1	日高管内教研連大会会場
13・4・1	第21代校長 佐藤 光雄 就任
7・1	弱視児学級認可
14・2・1	給食センター移転による給食開始
4・1	学校完全週5日制開始
6・16	開校130周年記念大運動会
10・18	開校130周年記念学芸会
12・20	開校130周年記念特集号発行
15・6・2	中庭「けやき」倒れる。
8・9	台風10号上陸・教員住宅床下浸水。校舎被害ない。
9・26	平成15年度十勝沖地震震度6弱・校舎ひび割れ等被害あるも、児童の被害はなし。
11・29	町社会福祉教育推進協議会より児童会表彰を受ける。
12・1	「けやき」樹木遺伝子銀行第2号登録となる。記念コースター配布
16・4・1	学級数21・児童570名（特殊学級4・8名）
6・27	町社会福祉教育推進協議会より児童会表彰を受ける。
8・31	台風の影響により臨時休校となる。
11・5	札幌盲学校と交流学習を行う。（2回実施）

	1 1・2 9	震度5弱被害なし
1 7・	3・ 4	4年児童2名、静内町スポーツ奨励特別賞受賞。
	5・1 1	日本国際連合協会北海道本部日高地方支部より国連文庫の贈呈
	9・1 5	北海道障害児教育研究所連盟より日高大会で公開授業を行う
	1 0・1 0	体育館舞台幕迫り出し装置改修工事完了
	1 1・1 1	JRAよりマルチプロジェクター、書棚2台の寄贈
1 8・	4・ 1	学級数20(普通17学級、障害児3学級 567名) 第22代校長 根城 健 就任
	1 0・ 2	体育館ステージ 緞帳取替え
	1 1・1 7	全校児童集会で「笑顔いっぱい宣言」を採択
	1 2・1 5	学校参観日(総合的な学習の時間の発表会 スタディ集会実施)
1 9・	4・ 1	学級数20(普通17学級、特別支援学級3学級 547名)
2 0・	4・ 1	学級数20(普通18学級、特別支援学級2学級 560名) 第23代校長 北嶋 和幸 就任
	5・1 7	中庭の整備 ※児童に中庭を開放する。
2 1・	4・ 1	学級数20(普通18学級、特別支援学級2学級 548名)
2 2・	4・ 1	学級数21(普通18学級、特別支援学級3学級 538名)
	7・2 4	体育館、一部教室 耐震工事
2 3・	4・ 1	学級数22(普通18学級、特別支援学級4学級 535名) 第24代校長 亀谷 弘 就任
	7・2 3	体力山改修工事
2 4・	3・2 3	第140回卒業証書授与式
	4・ 1	学級数22(普通18学級、特別支援学級4学級 527名)
	1 1・2 7	暴風雨により、学校林15本倒れる。
2 5・	8	錦戸電気株式会社よりLED蛍光管273本(全学級) 寄贈
	1 1・2 0	管内自主公開研究会開催(算数)
2 6・	1・2 8	全道教育課程実践成果「実践事例集」掲載校
	4・ 1	第25代校長 久保田 達也 就任
2 7・	1 1・1 8	公開授業研修会開催(算数・道徳)
2 8・	1 1・1 5	管内教委連研究実践校公開授業研修会開催(算数・道徳)
2 9・	1 1・1 4	管内教委連研究実践校・ほっかいどう学力向上推進「授業改善支援事業」拠点校「公開授業研修会」開催(国語・道徳)
3 0・	4・ 1	第26代校長 中村 等 就任
	9・ 6	胆振東部地震(震度5強)発生、児童・校舎被害なしも、道内全域停電(ブラックアウト)により臨休
	1 1・1 2	学校力向上に関する総合実践事業実践指定校・ほっかいどう学力向上推進「授業改善支援事業」拠点校「公開授業研修会」開催(道徳・外国語活動)
令和	1・1 1・1 5	日高管内学校間ネットワーク強化事業・学校力向上に関する総合実践事業実践指定校「公開授業研修会」開催(社会・算数)
	2・ 2・2 7	新型コロナウイルス感染防止対策のため臨時休校(～3月24日)
	4・ 1	第27代校長 鈴木 晋作 就任
	4・2 0	新型コロナウイルス感染防止対策のため臨時休校(～5月31日)分散登校実施 運動会を体育参観日、学芸会を音楽参観日として実施(感染防止対策のため) 夏休み・冬休み合わせて20日間短縮(授業時数確保のため)
	1 1・ 7	体力山全面改修工事終了
	1 2・1 6	学校運営協議会設立
3・	4・ 1	学級数19(普通学級15、特別支援学級4、通級指導教室、児童数505名)
	6・ 3	新体力山使用開始
	1 1・ 5	公開授業研修会開催(理科・算数)
	1 8	学習発表会2部制により実施(新型コロナウイルス感染防止対策)
	1・2 8	新型コロナウイルス感染防止対策のため臨時休校(～2月7日)
4・	4・ 1	創立150年にあたる年度 学級数20(普通学級16、特別支援学級4、通級指導教室、児童数505名)